



2023年3月期 第2四半期 決算説明資料

2022年11月10日

石油資源開発株式会社
(証券コード：1662)

目次

- I. 業績ハイライト・事業等の進捗状況**
- II. 2023年3月期 第2四半期決算の概要**
- III. 2023年3月期 業績予想の概要**

※本資料は2022年11月11日開催予定の機関投資家およびアナリスト向け決算説明会資料を兼ねております。

-
- I. 業績ハイライト・事業等の進捗状況**
 - II. 2023年3月期 第2四半期決算の概要
 - III. 2023年3月期 業績予想の概要

業績ハイライト

23年3月期 第2四半期決算（前年同期比）

単位：億円	22/3月期 2Q (a)	23/3月期 2Q (a)	比較増減
営業利益	95	193	+97
経常利益	193	430	+237
親会社株主に帰属する四半期純利益	△1,196	314	+1,511

- **営業利益**：原油・天然ガス販売価格の上昇などにより増益
- **経常利益**：為替差益の増加やLNG取引にかかる評価益の計上
- **当期純損益**：カナダ2案件の当社参画終了にともなう特別損失（22/3月期）の剥落により増益

23年3月期 業績予想修正（8/9公表予想比）

単位：億円	8/9公表予想 (f)	11/10公表予想 (f)	比較増減
営業利益	397	452	+55
経常利益	509	669	+159
親会社株主に帰属する当期純利益	400	530	+129

- **営業利益**：天然ガスや電力の販売価格の上昇による収支上振れを見込む
- **経常利益**：為替差益の増加やLNG取引にかかる評価益の計上を見込む

株主還元

- 1株当たりの配当予想を年間300円に修正（中間150円+期末予想150円） ※ 連結配当性向 30%に基づく修正
- 2021年11月に開始の自己株式取得は、8月末に取得価額の総額上限（80億円）に到達。9月末に取得した自己株式全数を消却

23年3月期上期の主な事業進捗

E&P分野

【国内ポテンシャル追求】

- ・ JOGMEC公募事業「女川タイトオイル層を対象とした酸処理に関する共同研究事業」事業実施者採択（4月）
- ・ 新潟県・片貝ガス田周辺追加開発開始（7月）

【海外新規権益獲得】

- ・ アメリカ・タイトオイル開発への投資拡大決定（5月）

I/U分野

【国内再生可能エネルギー開発】

- ・ 当社参画バイオマス発電所の着工：愛媛県・大洲バイオマス発電所（6月）、山口県・長府バイオマス発電所（7月）、愛知県・田原バイオマス発電所（9月）
- ・ 北海道・網走バイオマス発電所2号機営業運転開始（10月）※同3号機は建設中

【LNG輸送・供給】

- ・ 北海道・苫小牧港でTruck to Ship方式のLNGバンカリングトライアル実施（9月）

CN分野

【実現可能性検討】

- ・ 新潟東港エリアにおけるハブ&クラスター型CCUS事業の実現可能性調査受託（5月）
- ・ マレーシアにおけるCCS共同スタディへ新たに日揮グローバルと川崎汽船が参加（7月）

【その他】

- ・ 経済産業省主催「CCS長期ロードマップ検討会」及び同検討会「CCS事業コスト・実施スキーム検討WG」に委員として参加
- ・ CCSの国際的シンクタンク「Global CCS Institute」に加盟（5月）
- ・ CCSの事業普及・拡大を目指す国際団体「CCS+ Initiative」に加盟（6月）

23年3月期上期 ESG関連の取り組み

【統合報告書2022を発行（和文9月/英文10月）】



（主なハイライト）

- **気候変動対応**
 - 自社操業の GHG 排出原単位（※）の 2021 年度実績は 3.2 トン-CO₂/TJ（2019 年度比 19%減少）
 - ※ 2021年5月にとりまとめた「JAPEX2050～カーボンニュートラル社会の実現に向けて～」において、2030年度までに2019年度比で40%削減する目標を設定
- **ガバナンス**
 - 取締役、監査役のスキルマトリックス、社外取締役による取締役会実効性をテーマとした座談会の掲載

https://www.japex.co.jp/ir/uploads/pdf/JAPEX_IR2022_j.pdf

S（社会）

【人的資本マネジメント】

- 当社退職者向け「カムバック採用」開始（7月）
 - 当社に在籍していた元社員を対象とした、“カムバックオファー”を受け取れる登録制度を導入
- 従業員持株会奨励策の拡充を決定（9月）
 - 福利厚生の充実、ならびに、従業員が株主目線を持ちながら経営陣とともに事業その他に取り組むことを期待

G（ガバナンス）

【経営体制強化】

- 取締役における社外取締役・女性取締役割合の増加（6月）
 - 6月開催の定時株主総会において選任された取締役11名のうち、社外取締役5名（前期4名から1名増）、女性取締役2名（前期1名から1名増）

【株主還元拡充】

- 自己株式の取得終了（8月）、ならびに取得した自己株式の全数消却完了（9月）

23年3月期 経営目標と資金配分に係る進捗

「JAPEX経営計画2022-2030」 定量目標と資金配分方針

- 定量目標として、**2030年度達成を目指す長期目標**と、**2026年度までの中間目標**を含め設定
- 2030年度までのキャッシュイン累計5,000億円を、成長投資へ**4,500億円**、**株主還元へ500億円**を配分

定量目標

項目	23/3月期 2Q	通期見通し	中長期目標
事業利益	259億円	513億円	2026年度 300億円 2030年度 500億円
ROE	N/A	N/A	2026年度 5% 2030年度 8%
利益構成割合 (E&P : E&P以外)	9 : 1	9 : 1	2026年度 6 : 4 2030年度 5 : 5

資金配分

項目	23/3月期 2Q	通期見通し	想定配分*1
成長投資	149億円	429億円+新規	2026年度 2,750億円 2030年度 4,500億円
株主還元	56億円*2	138億円*3	2026年度 250億円 2030年度 500億円

*1 2022年度から2026年度までの5年間累計、および2030年度までの9年間累計、*2 22年3月期 期末配当+自社株買い、*3 22年3月期 期末配当+自社株買い+23年3月期 中間配当

-
- I. 業績ハイライト・事業等の進捗状況
 - II. 2023年3月期 第2四半期決算の概要**
 - III. 2023年3月期 業績予想の概要

決算概要【前年同期比】

単位：百万円	22/3月期 2Q (a)	23/3月期 2Q (a)	増減	
売上高	118,507	120,708	+2,200	+2%
売上総利益	25,784	33,980	+8,195	+32%
営業利益	9,540	19,304	+9,764	+102%
経常利益	19,349	43,084	+23,734	+123%
親会社株主に帰属する四半期純利益	△ 119,676	31,430	+151,106	-%

原油価格・為替・販売価格の実績

		22/3月期 2Q (a)	23/3月期 2Q (a)	増減
WTI	USD/bbl	62.21	101.53	+39.32
原油CIF(JCC)	USD/bbl	67.38	107.25	+39.87
為替	円/USD	109.15	127.44	+18.29

E&P事業 販売実績【前年同期比】

売上高単位：百万円	販売量単位	22/3月期 2Q (a)		23/3月期 2Q (a)		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量	売上高		
E&P事業	-	-	49,820	-	14,142	-	-	△ 35,678	△72%

(内訳)

原油	千KL	345	17,494	141	14,101	△203	△59%	△3,392	△19%
- 国産原油		154	7,465	116	10,495	△38	△25%	① +3,029	+41%
- 海外原油*1		176	9,358	14	2,651	② △161	△92%	△6,706	△72%
- 買入原油		13	671	10	955	△3	△23%	+283	+42%
希釈ビチューメン*2		959	31,121	-	-	③ △959	-	△31,121	-
天然ガス・海外販売*3	百万M3	128	1,204	1	40	④ △127	△99%	△1,164	△97%

主な増減要因

- ①販売価格の上昇
- ②イラク・ガラフ油田 販売数量の減少
- ③カナダ・オイルサンドプロジェクトへの参画終了による販売量の剥落
- ④カナダ・シェールガスプロジェクトへの参画終了による販売量の減少

*1 22/3月期1Qは海外連結子会社 株式会社ジャバックスガラフ、JAPEX Montney LtdおよびJapex (U.S.) Corp. の数値、23/3月期1Qは株式会社ジャバックスガラフおよびJapex (U.S.) Corp. の数値

*2 ロイヤリティー控除後の数値

*3 22/3月期は海外連結子会社JAPEX Montney Ltd.およびJapex(U.S.)Corp. の数値、23/3月期はJapex (U.S.) Corp. の数値

インフラ・ユーティリティ事業 販売実績【前年同期比】

売上高単位：百万円	販売量単位	22/3月期 2Q (a)		23/3月期 2Q (a)		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量	売上高		
インフラ・ユーティリティ事業	-	-	46,382	-	76,779	-	-	+30,397	+66%

(内訳)

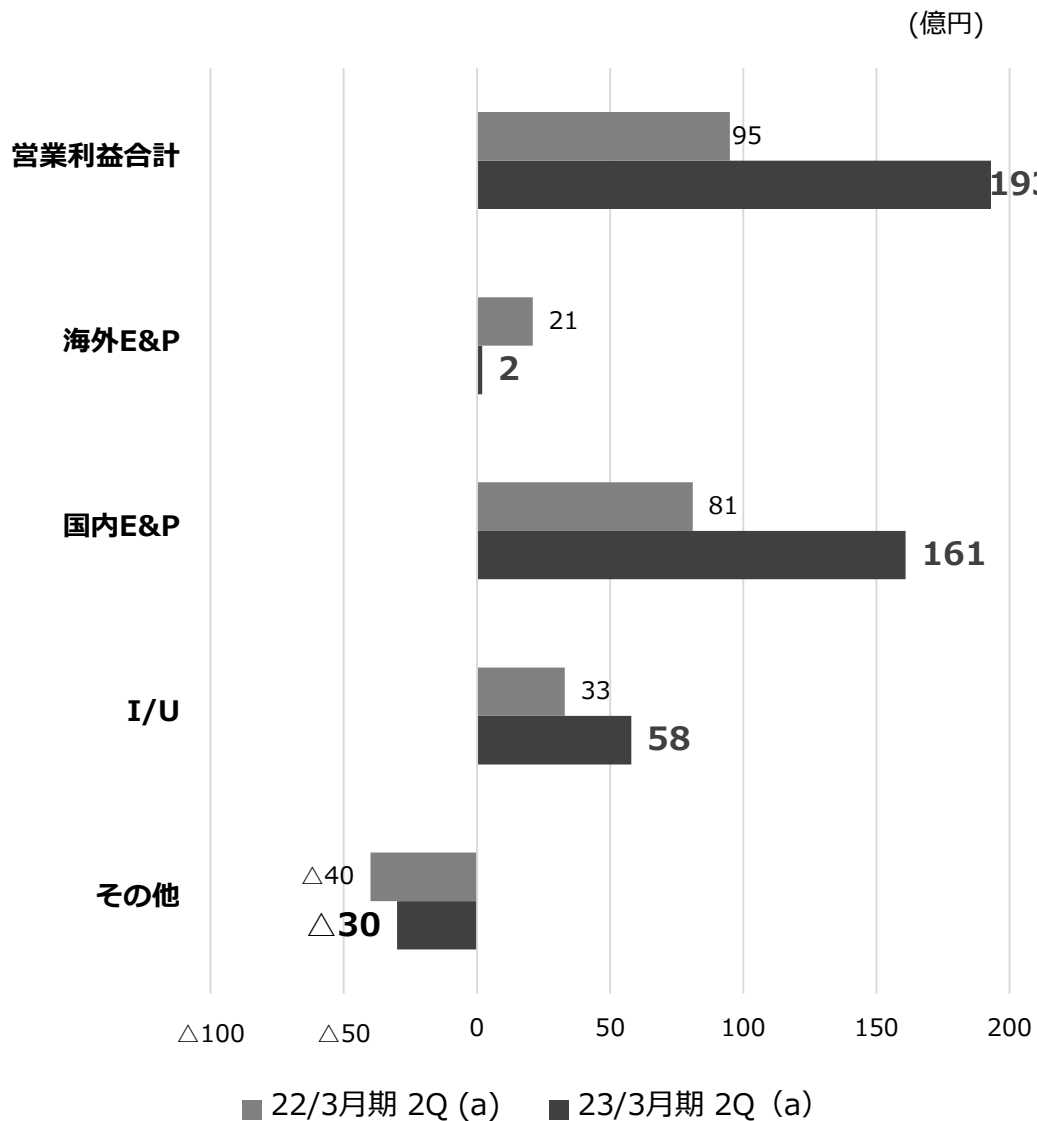
天然ガス・国内販売	百万M3	455	21,238	446	35,966	△9	△2%	① +14,728	+69%
- 国産天然ガス		233	-	211	-	△21	△9%	-	-
液化天然ガス	千トン	96	8,186	94	13,486	△2	△3%	② +5,300	+65%
電力	百万kWh	1,605	14,998	1,452	25,251	△152	△10%	③ +10,253	+68%
その他*	-	-	1,960	-	2,074	-	-	+114	+6%

主な増減要因

- ①-②JLC価格上昇による国内ガスおよびLNG販売価格の上昇
- ③販売価格の上昇

* 天然ガスの受託輸送収入および液化天然ガスの気化受託収入などを含む

営業利益概要【前年同期比】



E&P事業

(海外) : △18億円 (21億円 → 2億円)

- 前期希釈ビチューメン販売量の剥落

(国内) : +80億円 (81億円 → 161億円)

- 原油価格上昇による国産原油の販売価格上昇
- JLC上昇による国産天然ガス販売価格*上昇

* 当社内部管理上のE&P事業からインフラ・ユーティリティ事業への取引価格

インフラ・ユーティリティ(I/U)事業

+25億円 (33億円 → 58億円)

- LNG調達差益の増加など

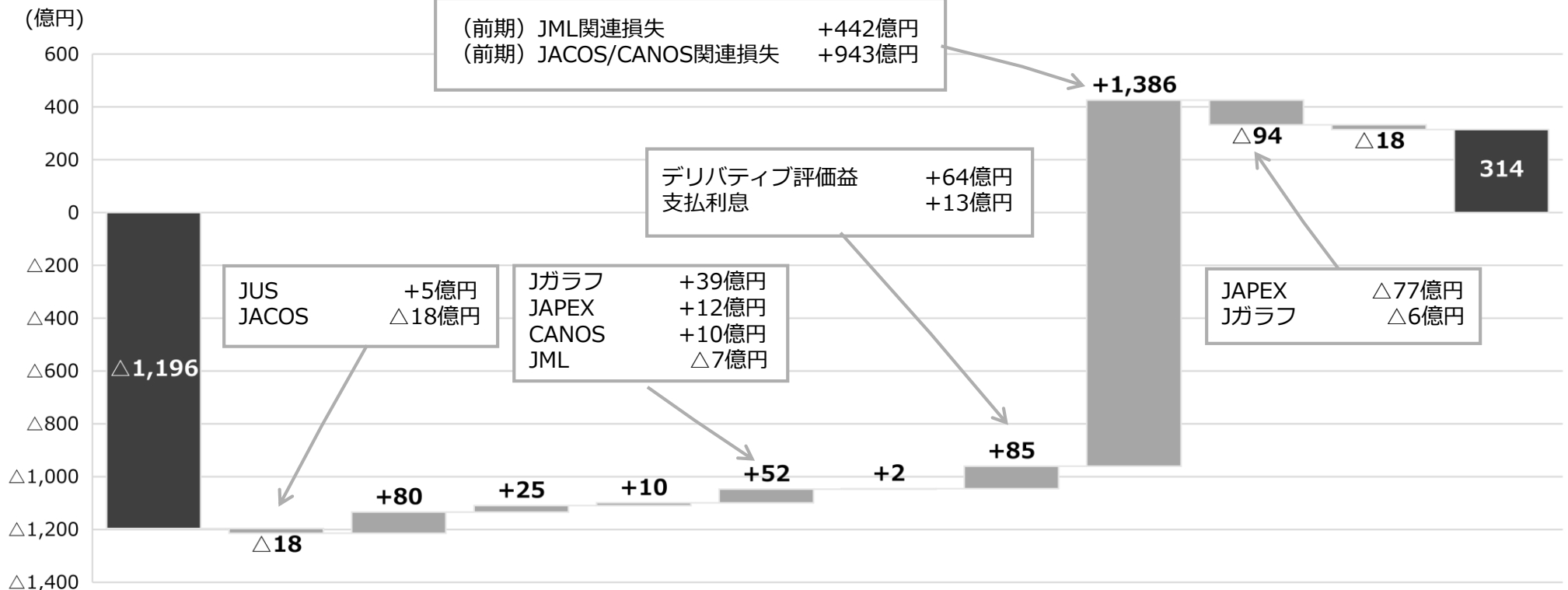
その他※

+10億円 (△40億円 → △30億円)

※ 上記事業部門に属さない営業利益（請負、石油製品・商品等）から本社管理費を控除した金額

注) 営業利益内訳の事業区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

純利益増減分析【前年同期比】



純利益	営業利益* +97億円				営業外損益 +139億円				純利益
-----	-------------	--	--	--	--------------	--	--	--	-----

22/3月期 2Q (a)	海外E&P	国内E&P	I/U	その他	為替差損益	持分法投資損益	その他	特別損益	法人税等	非支配株主利益	23/3月期 2Q (a)
22/3月期 2Q (a)	21	81	33	△40	39	64	△6	△1,386	△4	8	
23/3月期 2Q (a)	2	161	58	△30	91	66	79	△0	89	26	

注) 営業利益内訳の事業区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

-
- I. 業績ハイライト
 - II. 2023年3月期 第2四半期決算の概要
 - III. 2023年3月期 業績予想の概要

業績予想修正【8.9公表予想比】

単位：百万円	前回予想 (f) 8.9公表	今回予想 (f) 11.10公表	増減	
売上高	275,755	304,563	+28,807	+10%
売上総利益	69,575	77,174	+7,599	+11%
営業利益	39,705	45,242	+5,536	+14%
経常利益	50,988	66,951	+15,962	+31%
親会社株主に帰属する当期純利益	40,007	53,000	+12,992	+32%

原油価格・為替の前提

		前回予想 (f) 8.9公表	今回予想 (f) 11.10公表	増減
WTI	USD/bbl	97.05	94.33	△2.72
原油CIF(JCC)	USD/bbl	95.64	93.04	△2.60
為替	円/USD	120.75	128.59	+7.84

E&P事業 販売予想修正【8.9公表予想比】

売上高単位：百万円	販売量単位	前回予想 (f) 8.9公表		今回予想 (f) 11.10公表		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量	売上高		
E&P事業	-	-	52,241	-	51,167	-	-	△ 1,073	△2%

(内訳)

原油	千KL	697	51,981	703	50,853	+5	+1%	△1,127	△2%
- 国産原油		242	18,378	242	19,250	+0	+0%	① +872	+5%
- 海外原油* ¹		432	31,869	439	29,896	+7	+2%	② △1,973	△6%
- 買入原油		23	1,733	20	1,706	△2	△9%	△26	△2%
天然ガス・海外販売* ²	百万M3	12	260	13	314	+0	+8%	+54	+21%

主な増減要因

- ①販売価格（7～9月）の上昇
- ②イラク ガラフ油田 原油CIF価格前提の見直しによる販売価格の低下

*1 海外連結子会社 株式会社ジャベックスガラフおよびJapex (U.S.) Corp. の数値

*2 海外連結子会社 Japex (U.S.) Corp. の数値

インフラ・ユーティリティ事業 販売予想修正【8.9公表予想比】

売上高単位：百万円	販売量単位	前回予想 (f) 8.9公表		今回予想 (f) 11.10公表		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量		売上高	
インフラ・ユーティリティ事業	-	-	163,388	-	191,034	-	-	+27,646	+17%

(内訳)

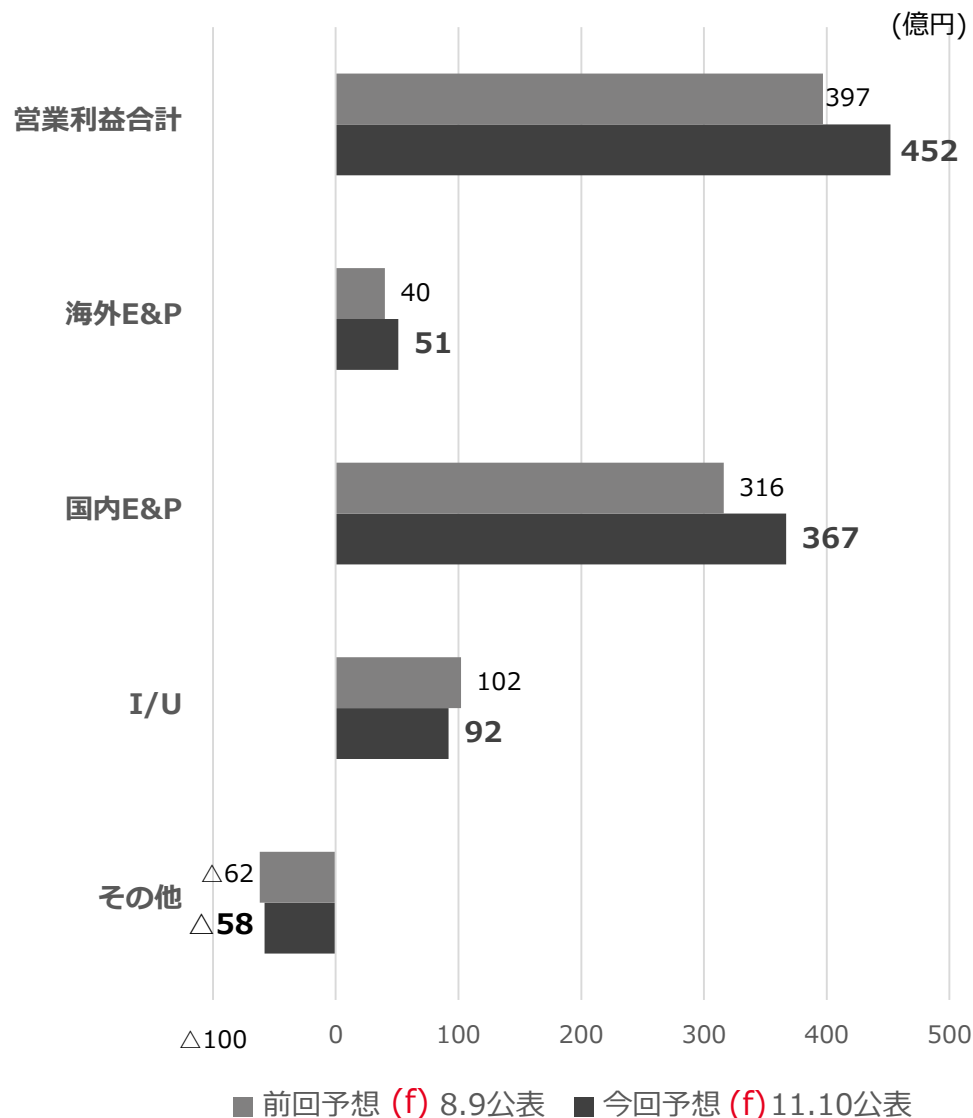
天然ガス・国内販売	百万M3	1,008	77,744	1,012	89,894	+3	+0%	① +12,149	+16%
- 国産天然ガス		483	-	483	-	△0	△0%	-	-
液化天然ガス	千トン	358	35,729	349	41,804	△8	△2%	② +6,074	+17%
電力	百万kWh	2,900	44,664	3,031	53,304	+130	+4%	③ +8,639	+19%
その他*	-	-	5,249	-	6,032	-	-	+782	+15%

主な増減要因

- ①-②JLC価格上昇による国内ガスおよびLNG販売価格の上昇
- ③販売価格の上昇

* 天然ガスの受託輸送収入および液化天然ガスの気化受託収入などを含む

営業利益概要【8.9公表予想比】



注) 営業利益内訳の事業区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

E&P事業

(海外) : +10億円 (40億円 → 51億円)

- ・ イラクガラフ油田の生産報酬の増加など

(国内) : +51億円 (316億円 → 367億円)

- ・ JLC上昇による国産天然ガス販売価格*上昇

* 当社内部管理上のE&P事業からインフラ・ユーティリティ事業への取引価格

インフラ・ユーティリティ事業 (I/U)

△10億円 (102億円 → 92億円)

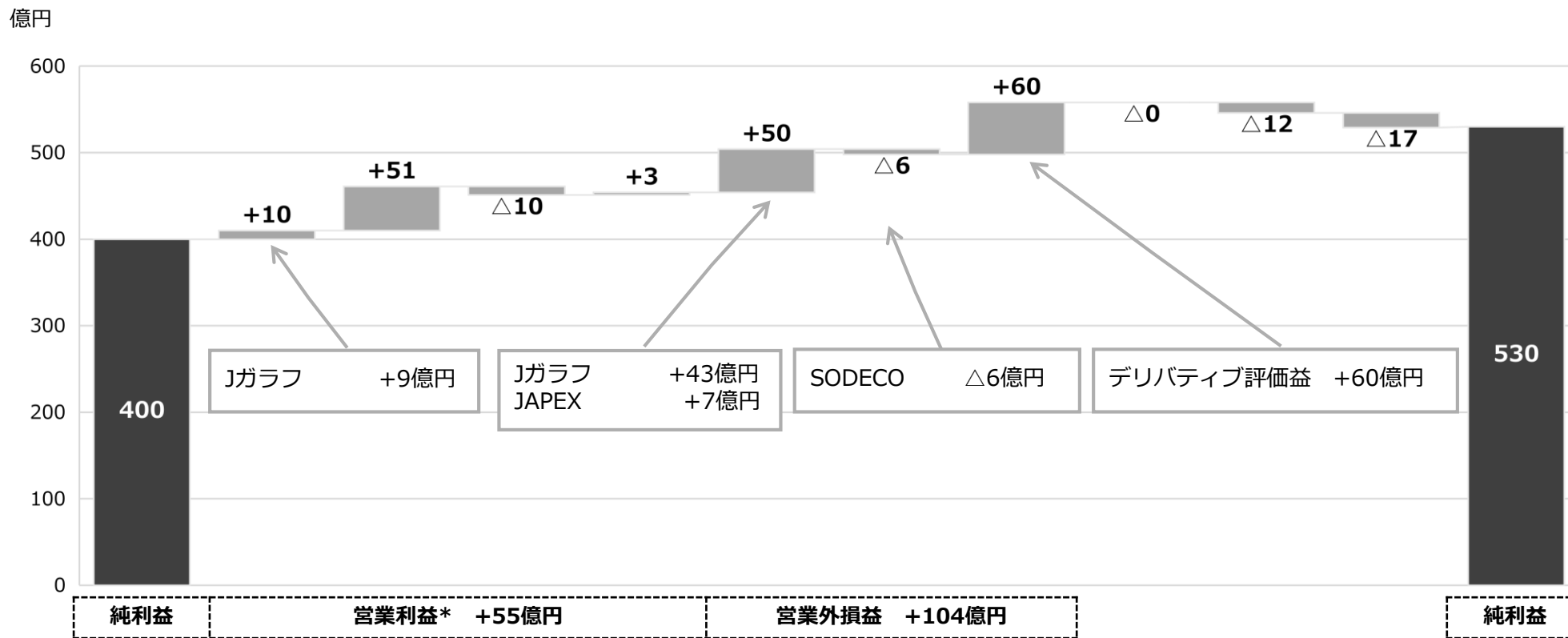
- ・ JLC上昇によるLNG調達差益の拡大
- ・ LNGスポット調達の可能性に備えた追加コスト (50億円) の計上

その他*

+3億円 (△62億円 → △58億円)

※ 上記事業部門に属さない営業利益 (CN分野、請負、石油製品・商品等) から本社管理費を控除した金額

純利益増減分析【8.9公表予想比】



純利益	営業利益* +55億円					営業外損益 +104億円					純利益
-----	-------------	--	--	--	--	--------------	--	--	--	--	-----

前回予想 (f) 8.9公表	海外E&P	国内E&P	I/U	その他	為替 差損益	持分法 投資損益	その他	特別損益	法人税 等	非支配 株主利益	今回予想 (f) 11.10公表
前回予想 (f) 8.9公表	40	316	102	△62	10	70	32	△0	98	11	
今回予想 (f) 11.10公表	51	367	92	△58	60	63	92	△0	110	28	

注) 営業利益内訳の事業区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

業績予想【前期比】

単位：百万円	22/3月期 (a)	23/3月期 (f) 11.10公表	増減	
売上高	249,140	304,563	+55,422	+22%
売上総利益	49,903	77,174	+27,271	+55%
営業利益	19,809	45,242	+25,432	+128%
経常利益	43,674	66,951	+23,277	+53%
親会社株主に帰属する当期純利益又は当期純損失 (△)	△30,988	53,000	+83,988	-

原油価格・為替の前提

		22/3月期 (a)	23/3月期 (f) 11.10公表	増減
WTI *	USD/bbl	64.06	94.33	+30.27
原油CIF(JCC)	USD/bbl	73.28	93.04	+19.76
為替	円/USD	111.20	128.59	+17.39

* 22/3月期はJapan Canada Oil Sands Limitedによる希釈ピチューメン販売（2021年1～8月の8か月分）にかかるWTI平均値

E&P事業 販売予想【前期比】

売上高単位：百万円	販売量単位	22/3月期 (a)		23/3月期 (f) 11.10公表		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量	売上高		
E&P事業	-	-	73,422	-	51,167	-	-	△ 22,254	△30%

(内訳)

商品	販売量単位	22/3月期 (a)	23/3月期 (f)	22/3月期 (a)	23/3月期 (f)	増減	増減		
原油	千KL	669	703	41,056	50,853	+33	+5%	+9,796	+24%
- 国産原油		286	242	15,570	19,250	△44	△15%	① +3,680	+24%
- 海外原油* ¹		357	439	24,105	29,896	② +82	+23%	+5,791	+24%
- 買入原油		25	20	1,381	1,706	△4	△18%	+325	+24%
希釈ビチューメン* ²		959	-	31,121	-	③ △959	-	△31,121	-
天然ガス・海外販売* ³	百万M3	130	13	1,244	314	④ △116	△90%	△929	△75%

主な増減要因

- ①販売価格の上昇
- ②アメリカ タイトオイル販売量の増加および販売価格の上昇
- ③カナダ・オイルサンドプロジェクトへの参画終了による販売量の剥落
- ④カナダ・シェールガスプロジェクトへの参画終了による販売量の減少

*1 22/3月期は海外連結子会社 株式会社ジャベックスグラフ、JAPEX Montney LtdおよびJapex (U.S.) Corp. の数値、23/3月期は株式会社ジャベックスグラフおよびJapex (U.S.) Corp. の数値

*2 ロイヤリティ控除後の数値

*3 22/3月期は海外連結子会社JAPEX Montney Ltd.およびJapex(U.S.)Corp. の数値、23/3月期はJapex (U.S.) Corp. の数値

インフラ・ユーティリティ事業 販売予想【前期比】

売上高単位：百万円	販売量単位	22/3月期 (a)		23/3月期 (f) 11.10公表		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量	売上高		
インフラ・ユーティリティ事業	-	-	119,845	-	191,034	-	-	+71,189	+59%

(内訳)

天然ガス・国内販売	百万M3	1,061	58,024	1,012	89,894	△49	△5%	① +31,869	+55%
- 国産天然ガス		527	-	483	-	△43	△8%	-	-
液化天然ガス	千トン	295	22,596	349	41,804	② +53	+18%	+19,208	+85%
電力	百万kWh	3,023	34,320	3,031	53,304	+7	+0%	③ +18,983	+55%
その他*	-	-	4,903	-	6,032	-	-	+1,128	+23%

主な増減要因

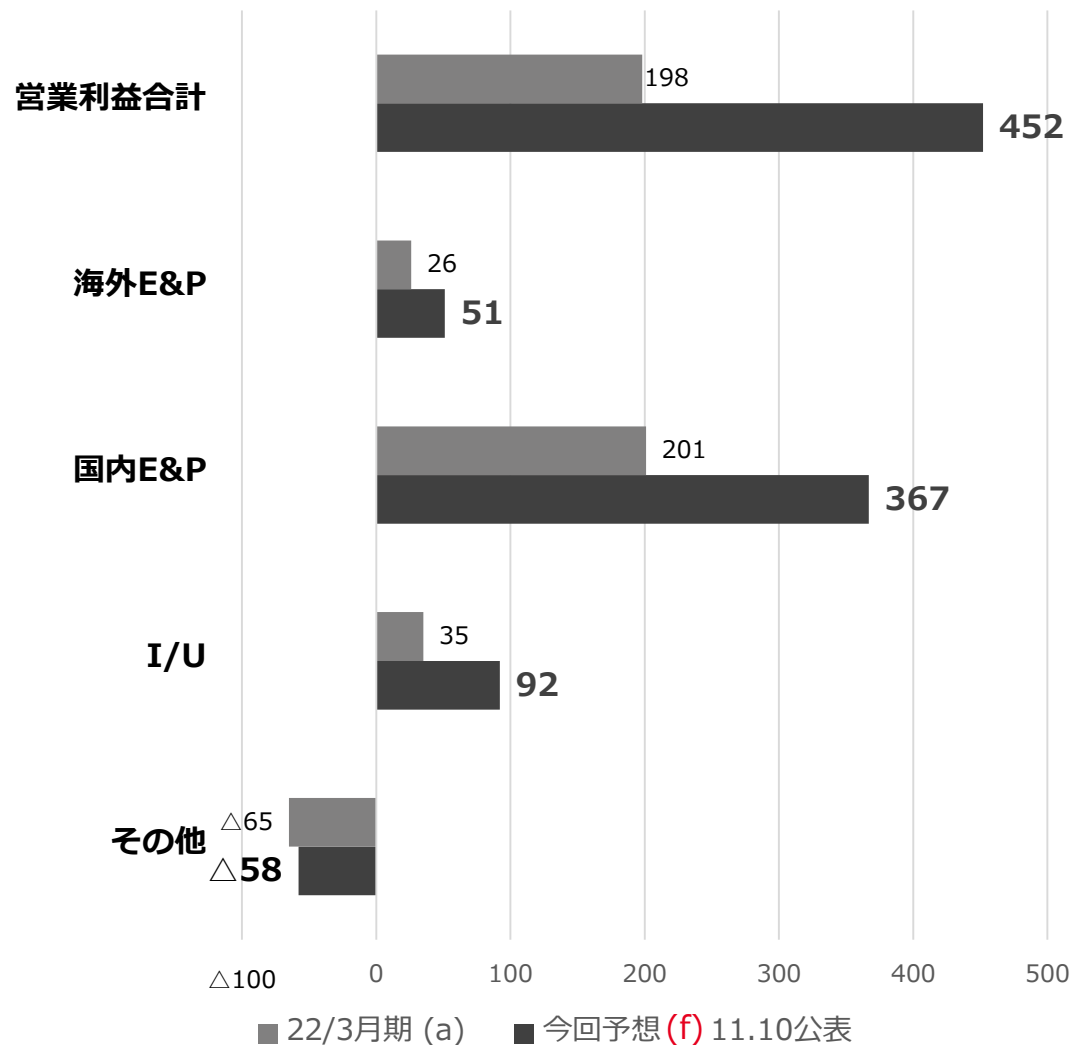
①-②JLC価格上昇による国内ガスおよびLNG販売価格の上昇、LNG販売量の増加

③販売価格の上昇

* 天然ガスの受託輸送収入および液化天然ガスの気化受託収入などを含む

業績予想 営業利益概要【前期比】

(億円)



注) 営業利益内訳の事業区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

E&P事業

(海外) : +24億円 (26億円 → 51億円)

- アメリカ タイトオイルの販売量増加 (+)
- 前期希釈ビチューメン販売量の剥落 (-)

(国内) : +166億円 (201億円 → 367億円)

- 原油価格上昇による国産原油の販売価格上昇
- JLC上昇に伴う国産天然ガス販売価格*上昇

* 当社内部管理上のE&P事業からインフラ・ユーティリティ事業への取引価格

インフラ・ユーティリティ事業 (I/U)

+57億円 (35億円 → 92億円)

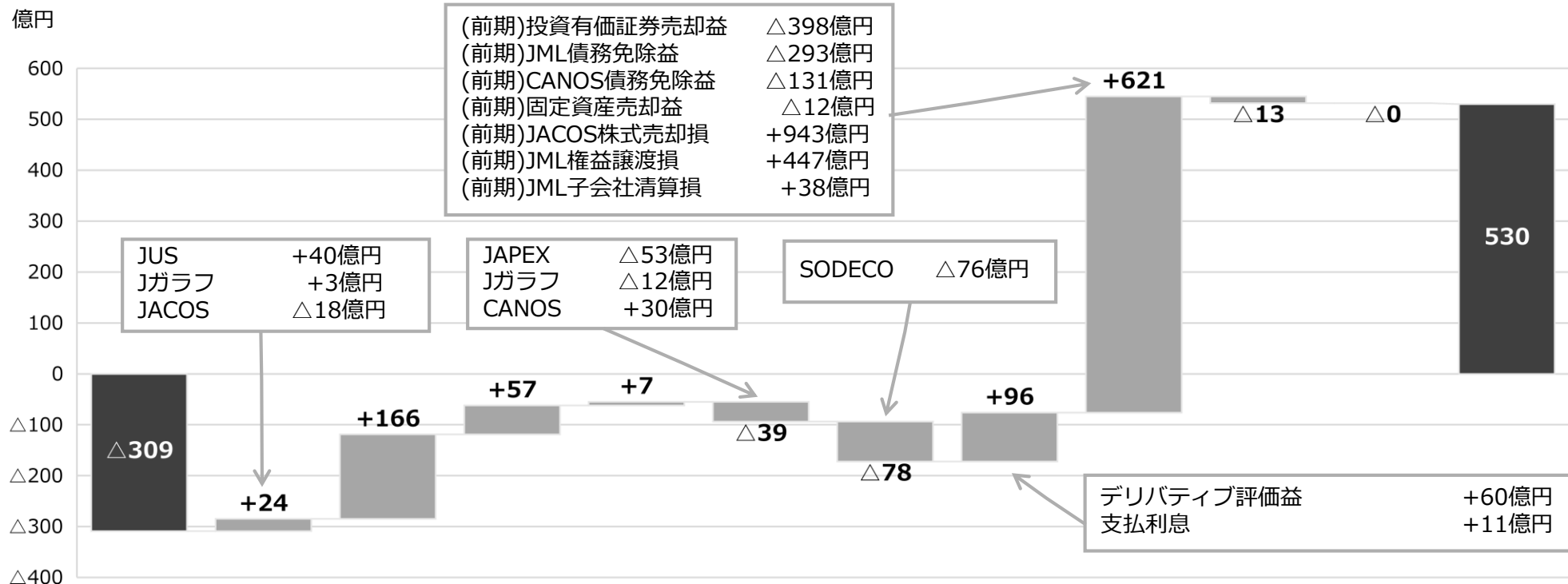
- LNG調達差益の増加など
 - ✓ 前期の一過性要因 (LNG調達先のトラブルによる代替スポット調達によるコスト増加) の剥落 (+)
 - ✓ LNGスポット調達の可能性に備えた追加コスト (50億円) の計上 (-)

その他*

+7億円 (△65億円 → △58億円)

* 上記事業部門に属さない営業利益 (CN分野、請負、石油製品・商品等) から本社管理費を控除した金額

純利益増減分析【前期比】



純利益	営業利益* +254億円				営業外損益 △21億円			特別損益	法人税等	非支配株主利益	純利益
22年3月期 (a)	海外E&P	国内E&P	I/U	その他	為替差損益	持分法投資損益	その他				今回予想 (f) 11.10公表
22年3月期 (a)	26	201	35	△65	100	142	△3	△621	96	28	
今回予想 (f) 11.10公表	51	367	92	△58	60	63	92	△0	110	28	

注) 営業利益内訳の事業区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

バランスシートの状況

単位：百万円	22/3月期 (a)	23/3月期 2Q (a)	増減
流動資産	226,920	237,804	+10,884
固定資産	245,021	272,144	+27,123
有形固定資産	92,837	104,084	+11,246
投資有価証券	108,910	108,750	△160
生産物回収勘定	16,019	29,677	+13,657
その他	27,252	29,632	+2,379
資産合計	471,941	509,949	+38,007
流動負債	25,241	35,222	+9,980
固定負債	43,929	42,895	△1,034
純資産	402,770	431,832	+29,061
内、その他有価証券評価差額金	48,346	44,963	△3,382
内、非支配株主持分	31,131	33,617	+2,485
負債純資産合計	471,941	509,949	+38,007

米国タイトオイル開発、英領北海シーガルプロジェクト等への設備投資

未払法人税等の増加など

四半期純利益の計上および為替換算調整勘定の増加 (+)
配当金の支払および自己株式取得による減少 (-)

キャッシュ・フローおよび負債の状況

単位：百万円	22/3月期 (a)	23/3月期 (a)	22/3月期 (a)	23/3月期 (f)	
	2Q (累計)	2Q (累計)	通期	通期	
				8.9公表	11.10公表
営業活動によるキャッシュ・フロー	△7,558	42,806	△1,052	81,582	86,200
減価償却費	11,831	5,497	17,721	13,262	13,351
生産物回収勘定の回収	6,289	-	17,780	21,539	18,286
投資活動によるキャッシュ・フロー	△625	△22,080	52,067	△60,870	△56,130
有形固定資産の取得による支出	△8,310	△14,735	△16,278	△42,069	△39,850
生産物回収勘定の支出	△12,401	△13,657	△23,244	△33,197	△32,252
財務活動によるキャッシュ・フロー	△54,201	△5,985	△70,939	△12,069	△14,526
現金及び現金同等物の期末残高	98,263	168,384	144,513	153,156	160,056

有利子負債*1	-	-	6,156	10,457	10,457
EBITDA*2	-	-	57,391	65,723	70,914
EBITDA有利子負債倍率（倍）	-	-	0.1	0.1	0.1

*1 有利子負債は、リース債務、退職給付に係る負債および偶発債務を含む

*2 EBITDAは、営業利益、減価償却費、投資キャッシュフローにおける利息および配当金の受取額の合計額

参考資料

1. 売上高内訳
2. 損益の状況
3. セグメント損益
4. 業績予想の前提条件（原油価格・為替等）
5. 2023年3月期予想における原油価格・為替等のセンシティブティ
6. 事業拠点および主要事業紹介
7. 統合報告書およびIR関連資料
8. 用語集

1. 売上高内訳：①E&P事業

金額：百万円	22/3月期 (a)				23/3月期				
	1Q	2Q	2Q累計	通期	1Q	2Q	2Q累計	通期(f)	
								8.9公表	11.10公表
売上高	16,796	33,024	49,820	73,422	7,266	6,876	14,142	52,241	51,167
原油販売量 (千KL)	114	230	345	669	79	62	141	697	703
原油売上高	5,556	11,938	17,494	41,056	7,251	6,850	14,101	51,981	50,853
国産原油販売量 (千KL)	85	69	154	286	67	49	116	242	242
国産原油売上高	3,927	3,537	7,465	15,570	5,640	4,855	10,495	18,378	19,250
海外原油販売量 (千KL) *1	22	154	176	357	7	7	14	432	439
海外原油売上高	1,312	8,045	9,358	24,105	1,192	1,458	2,651	31,869	29,896
買入原油販売量 (千KL)	6	6	13	25	5	5	10	23	20
買入原油売上高	316	354	671	1,381	418	536	955	1,733	1,706
希釈ピチューメン販売量 (千KL)	351	608	959	959	-	-	-	-	-
希釈ピチューメン売上高*2	10,058	21,063	31,121	31,121	-	-	-	-	-
天然ガス海外販売量 (百万M3) *3	128	0	128	130	0	0	1	12	13
天然ガス海外売上高	1,181	22	1,204	1,244	14	25	40	260	314
WTI (USD/bbl)	58.10	66.07	62.21	64.06	94.41	108.65	101.53	97.05	94.33
原油CIF (USD/bbl) *4	64.25	71.31	67.38	73.28	101.55	115.31	107.25	95.64	93.04
為替 (円/USD) *4	108.43	109.96	109.15	111.20	122.50	133.58	127.44	120.75	128.59
希釈ピチューメン*2 (USD/bbl)	40.99	49.75	46.90	46.90	-	-	-	-	-
JML天然ガス*5 (CAD/mcf)	2.96	-	2.96	2.96	-	-	-	-	-

*1 22/3月期は海外連結子会社株式会社ジャペックスグラフ、JAPEX Montney Ltd.およびJapex (U.S.) Corp. の数値、23/3月期は株式会社ジャペックスグラフおよびJapex (U.S.) Corp. の数値

*2 ロイヤリティ控除後

*3 22/3月期は海外連結子会社JAPEX Montney Ltd.およびJapex(U.S.)Corp.の数値、23/3月期はJapex (U.S.) Corp. の数値

*4 原油CIF価格を参照した国内原油販売単価実績および換算為替レート

*5 海外連結子会社Japex Montney Ltd.の天然ガス販売価格 (ロイヤリティ控除後)

1. 売上高内訳：②インフラ・ユーティリティ(I/U)事業

金額：百万円	22/3月期 (a)				23/3月期				
	1Q	2Q	2Q累計	通期	1Q	2Q	2Q累計	通期 (f)	
								8.9公表	11.10公表
売上高	23,009	23,372	46,382	119,845	36,009	40,770	76,779	163,388	191,034
天然ガス国内販売量 (百万M3)	233	222	455	1,061	231	214	446	1,008	1,012
天然ガス国内売上高	10,709	10,529	21,238	58,024	17,923	18,043	35,966	77,744	89,894
国産天然ガス販売量 (百万M3)	123	109	233	527	109	101	211	483	483
液化天然ガス販売量 (千トン)	52	44	96	295	49	44	94	358	349
液化天然ガス売上高	4,397	3,788	8,186	22,596	6,062	7,424	13,486	35,729	41,804
電力販売量 (百万kWh)	765	840	1,605	3,023	665	787	1,452	2,900	3,031
電力売上高	7,163	7,834	14,998	34,320	10,986	14,265	25,251	44,664	53,304
その他*	739	1,220	1,960	4,903	1,037	1,037	2,074	5,249	6,032

* 液化天然ガスの気化受託収入などを含む

2. 損益の状況

	22/3月期 (a)				23/3月期				
	1Q	2Q	2Q累計	通期	1Q	2Q	2Q累計	通期(f)	
								8.9公表	11.10公表
売上高	50,083	68,424	118,507	249,140	58,617	62,091	120,708	275,755	304,563
E&P事業	16,796	33,024	49,820	73,422	7,266	6,876	14,142	52,241	51,167
インフラ・ユーティリティ事業	23,009	23,372	46,382	119,845	36,009	40,770	76,779	163,388	191,034
その他	10,277	12,026	22,303	55,872	15,341	14,444	29,786	60,126	62,360
売上原価	38,904	53,818	92,722	199,237	41,920	44,807	86,727	206,180	227,388
売上総利益	11,179	14,605	25,784	49,903	16,696	17,283	33,980	69,575	77,174
探鉱費	132	120	252	359	97	1,042	1,140	1,375	3,057
販管費	7,647	8,344	15,991	29,734	6,788	6,746	13,535	28,494	28,875
営業利益	3,400	6,140	9,540	19,809	9,810	9,494	19,304	39,705	45,242
営業外損益	7,091	2,718	9,809	23,864	12,789	10,989	23,779	11,283	21,709
受取利息	37	50	87	266	149	257	406	702	775
支払利息	△ 322	△ 982	△ 1,305	△ 1,187	△ 1	△ 1	△ 2	△ 6	△ 28
受取配当	48	2,138	2,186	4,049	47	1,603	1,651	3,173	3,510
持分損益	3,549	2,921	6,470	14,226	5,988	696	6,684	7,046	6,348
海投損繰入・戻入	92	85	177	66	-	0	0	△ 83	△ 83
為替差損益	3,851	89	3,941	10,002	6,748	2,428	9,176	1,024	6,086
その他	△ 165	△ 1,584	△ 1,750	△ 3,559	△ 142	6,004	5,861	△ 572	5,100
経常利益	10,491	8,858	19,349	43,674	22,600	20,483	43,084	50,988	66,951
特別損益	△ 1	△ 138,663	△ 138,665	△ 62,175	△ 1	△ 14	△ 15	△ 54	△ 71
税金等調整前当期純利益	10,489	△ 129,805	△ 119,315	△ 18,501	22,598	20,469	43,068	50,934	66,880
法人税等	2,832	△ 3,316	△ 484	9,652	5,304	3,665	8,970	9,817	11,026
非支配株主に帰属する当期純利益	550	294	844	2,835	1,653	1,013	2,667	1,108	2,853
親会社株主に帰属する当期純利益	7,106	△ 126,782	△ 119,676	△ 30,988	15,640	15,790	31,430	40,007	53,000

3. セグメント損益

単位：百万円		22/3月期 (a)				23/3月期				
		1Q	2Q	2Q累計	通期	1Q	2Q	2Q累計	通期(f)	
									8.9公表	11.10公表
日本	営業利益	6,122	4,811	10,934	24,739	11,472	11,215	22,688	43,812	48,557
	持分法投資利益	19	103	123	△ 47	291	24	315	363	509
北米	営業利益	△ 1,146	2,883	1,737	1,789	227	320	548	4,181	4,206
	持分法投資利益	-	-	-	-	-	-	-	-	-
欧州	営業利益	△ 47	△ 34	△ 81	△ 151	△ 33	△ 55	△ 88	△ 195	△ 187
	持分法投資利益	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中東	営業利益	537	676	1,214	2,644	522	611	1,134	1,978	2,952
	持分法投資利益	△ 3	△ 2	△ 6	△ 13	△ 3	△ 3	△ 6	△ 27	△ 28
その他 ^{*1}	営業利益	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	持分法投資利益	3,534	2,820	6,354	14,287	5,699	675	6,375	6,710	5,868
調整額 ^{*2}		△ 2,066	△ 2,198	△ 4,264	△ 9,213	△ 2,378	△ 2,598	△ 4,977	△ 10,070	△ 10,286
連結損益算書計上額 ^{*3} 営業利益		3,400	6,140	9,540	19,809	9,810	9,494	19,304	39,705	45,242

*1 持分法適用会社サハリン石油ガス開発株式会社およびEnergi Mega Pratama Inc.などを含む

*2 調整額の主な内容は、セグメント間取引消去および全社費用（主に報告セグメントに帰属しない一般管理費および試験研究費）

*3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失と調整を行っている

4. 業績予想の前提条件（原油価格・為替等）

市況前提			（上段）2021年1月～2022年3月					通期
			（下段）2022年1月～2023年3月					
			1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	
原油CIF (JCC) *3	USD/bbl	前期実績	-	64.25	71.31	77.30	82.70	73.28
		当期実績・前提	-	101.55 *1	115.31 *1	80.00	80.00	93.04
WTI*2	USD/bbl	前期実績	58.10	66.07	69.85	-	-	64.06
		当期実績・前提	94.41 *1	108.65 *1	94.26 *1	80.00	-	94.33
LNG（全日本CIF）	円/ト	前期実績	-	47,544	58,141	79,284	88,184	68,288
		当期実績・前提	-	101,863 *1	122,182	105,700	85,867	103,903
為替*3	円/USD	前期実績	-	108.43	109.96	111.69	114.52	111.20
		当期実績・前提	-	122.50 *1	133.58 *1	130.00	130.00	128.59

*1 実績値

*2 前期はJapan Canada Oil Sands Limitedによる希釈ビチューメン販売（2021年1～8月の8か月分）にかかるWTI平均値

*3 原油CIF価格を参照した国内原油販売単価実績および換算為替レート

5. 23年3月期予想における原油価格・為替等のセンシティブティ

	23/3月期 3Q-4Q 前提	変動幅	影響額（百万円）		主な変動項目 + 増益効果/△減益効果
			営業利益	親会社株主に 帰属する当期純利益 又は当期純損失	
原油価格	WTI 3Q : USD 94.26/bbl 4Q : USD 80.00/bbl 原油CIF価格 3Q-4Q : USD 80.00/bbl	USD 1 /bbl の価格上昇	100	70	+ 原油・天然ガス販売 △ LNG調達コスト増
為替	130.00円/USD	1 円/USD の円安	250	140	+ 原油・天然ガス販売 △ LNG調達コスト増

【前提】

- ・ 持分法適用会社の損益変動は、上記の影響額に含まれない
- ・ 為替変動の影響に関して、上記に示したものの以外に、外貨建金銭債権債務の為替レート換算差額が発生
また、実際の利益は原油価格や為替以外の様々な要因に影響される

6. 主要事業概況① 今期2Q以降の概況と主な動き

E&P分野

- 国内：北海道、秋田県、山形県、新潟県の油ガス田計10か所で原油・天然ガスを生産中／既存油ガス田の増産施策の検討継続
 - ・ 新潟県片貝ガス田の追加開発を実施中
 - ・ カーボンニュートラル対応に向けた、油ガス田操業でのGHG排出量削減策の検討や、CO₂貯留可能量調査なども実施
 - 海外：原油・天然ガス開発生産プロジェクトに参画中／新規権益獲得検討継続
- ✓ 新潟県・片貝ガス田周辺追加開発1坑目掘削開始（7月） ※1坑目生産開始は2023年後半予定、2坑目掘削は2023年中盤以降を予定
- （開発中案件）英領北海・シーガルプロジェクト（2023年前半生産開始予定）、イラク・ガラフ油田（開発作業中）

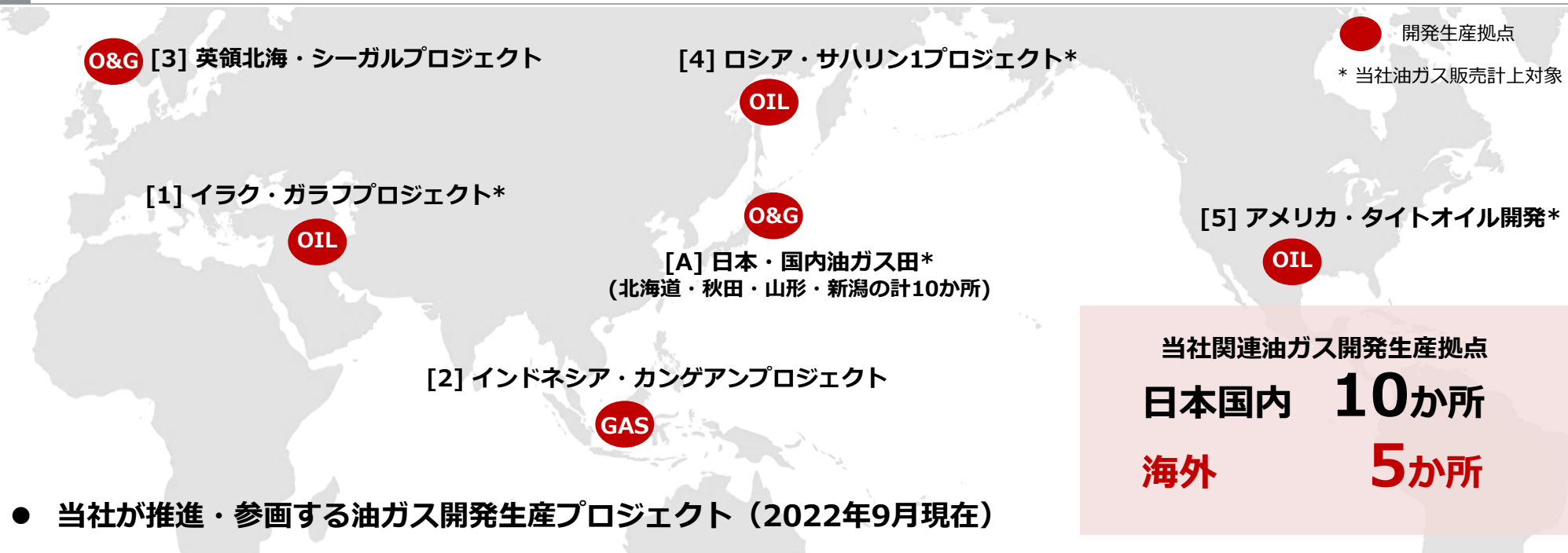
I/U分野

- 国内ガス供給：当社国内ガス供給ネットワークを通じた天然ガス・LNGの安定供給／燃料転換需要への対応を含むガス拡販対応継続中
 - ・ 相馬LNG基地（福島県相馬郡新地町）では、隣接する福島天然ガス発電所からの発電燃料LNG気化送出受託業務を実施中
 - 海外LNG供給インフラ：天然ガス需要拡大が想定される東南アジアを中心に、LNG基地など供給インフラ開発・運用プロジェクトへの参入を検討
 - 電力：稼働中発電所からの環境負荷の低い電力の安定供給／再生可能エネルギー開発・投資案件参画中および新規案件検討中
- ✓ 北海道・網走バイオマス発電所2号機営業運転開始（10月） ※同3号機は建設中（2023年2月営業運転開始予定）
- （建設中案件）愛知県・田原バイオマス発電所、愛媛県・大洲バイオマス発電所、山口県・長府バイオマス発電所

CN分野

- CCS（Carbon dioxide Capture and Storage：CO₂の回収・貯留）/CCUS（Carbon dioxide Capture, Utilization, and Storage：CO₂の回収・有効活用・貯留）の早期の実用化と事業化に向けた検討
 - CCS/CCUSとの連携が期待できる、カーボンニュートラルに関する協業や参入の検討
 - ・ カーボンリサイクル実現など、CCS/CCUSとの組み合わせによる地域や産業間の連携などを視野
- （国内検討中案件）北海道・苫小牧エリア、新潟東港エリアにおいて実現可能性調査を推進中
- （海外検討中案件）インドネシア、マレーシアにおいて実現可能性調査へ参加中

6. 主要事業概況② E&P分野



● 当社が推進・参画する油ガス開發生産プロジェクト（2022年9月現在）

No.	油ガス田/プロジェクト名（オペレーター）	権益比率（当社Net）	生産種別	状況	生産量日量*1
A	日本・国内油ガス田（北海道・秋田・山形・新潟の10か所で当社が操業）	権益により異なる	原油・天然ガス	生産中／追加開発中	非開示
1	イラク・ガラフプロジェクト（PETRONAS Carigali Iraq Holding B.V.）	30%（16.5%）	原油	生産中／追加開発中	13.2万bbl*2
2	インドネシア・カンゲアンプロジェクト（Kangean Energy Indonesia Ltd.）	100%（25%）	天然ガス	生産中	379万m ³ （2.3万boe）
3	英領北海・シーガルプロジェクト（Neptune E&P UK Limited）	15%（15%）	原油・天然ガス	開発中	-
4	ロシア・サハリン1プロジェクト*3	30%（4.59%）	原油	生産・開発中	非開示
5	アメリカ・タイトオイル開発（Marathon Oil Corporation、EOG Resources Inc.ほか）	権益により異なる	原油	生産・開発中	非開示

*1: 2022年度2Q累計（海外プロジェクトは2022年1～6月）の日量生産量平均。

*2: 2022年4～9月の日量生産量平均。

*3: 2022年10月に、ロシア大統領令などにより生産物分与契約に基づく権利義務は新たな事業主体へ継承。

6. 主要事業概況③ I/U分野 – ガス供給

JAPEXの国内天然ガス供給ネットワークの特色

総延長**800**km超の高圧ガスパイプライン網

外航船受入に対応するLNG基地**2**か所

日本海側-太平洋側双方からのガス供給が可能

● 国内ガス供給

- パイプラインによる国産ガス・LNG気化ガス供給
- LNGの受入・貯蔵・気化・送出
- LNGサテライト輸送（専用ローリー、鉄道タンクコンテナ、内航船）
- 当社ガス導管・LNG基地の第三者利用・受託業務など

● 国内ガス供給の多様化対応

- 他の化石燃料からガスへの燃料転換対応
- 都市ガス会社と連携したエネルギーサービスの提案・提供

● LNG調達

- タームとスポットを組み合わせた競争力のあるLNG調達

● 海外LNG供給インフラ

- ガス需要が旺盛な東南アジアを中心とする、新規案件立ち上げなど
 - ✓ 事業化検討中：ベトナム北部LNG基地プロジェクト



6. 主要事業概況④ I/U分野 – 電力

拠点合計 **7**か所 出力合計 **1,389,550kW**
 うち再エネ **6**か所 うち再エネ **209,550kW**
*出力合計値はGross

● 当社が開発・運営に参画する発電所（2022年10月末現在）

No.	名称	所在地	種別	出力合計 (kW)	当社比率	状況
A	福島天然ガス発電所	福島県相馬郡新地町	ガス (LNG)	118万	33%	稼働中
1	網走バイオマス発電所2号機・3号機	北海道網走市	バイオマス (木質チップ)	1.98万	33.8%	稼働中 ^(2号機) 建設中 ^(3号機)
2	JAPEX北海道事業所メガソーラー	北海道苫小牧市	太陽光	0.18万	100%	稼働中
3	勇払太陽光発電所	北海道苫小牧市	太陽光	1.3万	20%	稼働中
4	田原バイオマス発電所	愛知県田原市	バイオマス (木質ペレット)	5万	39.9%	建設中
5	大洲バイオマス発電所	愛媛県大洲市	バイオマス (木質ペレット)	5万	35%	建設中
6	長府バイオマス発電所	山口県下関市	バイオマス (木質ペレット)	7.495万	39.9%	建設中

● その他再エネ関連への参画

- PHOTONサステナブルソーラー投資事業有限責任組合 (非FITを含む太陽光発電プロジェクトを対象に最大100億円を投資するファンドへの参画、当社出資比率50%)

[1] 網走バイオマス発電所 **BIO**
2号機・3号機

[2] JAPEX北海道事業所
メガソーラー* **PV**

[3] 勇払太陽光発電所 **PV**



LNG [A] 福島天然ガス発電所*



[5] 大洲バイオマス発電所 **BIO**

[4] 田原バイオマス発電所 **BIO**

[6] 長府バイオマス発電所 **BIO**

● ガス発電所

■ 再エネ発電所

* 当社電力販売対象

6. 主要事業概況⑤ CN分野

● ハブ&クラスター型CCS/CCUSの実現に必要な要素

技術の検証・確立

- CO₂貯留適地・貯留可能量調査
- CO₂回収・輸送技術
- CO₂圧入・貯留技術
 - ・ 貯留CO₂モニタリング技術を含む

+

企業間・業種横断的な連携

- CO₂排出元からの回収
- CO₂輸送ネットワーク構築
 - ・ 利活用先への輸送と余剰分回収
- 余剰CO₂の地中貯留

+

法制度などの検討・整備

- CO₂地中貯留に関する法制度
- CO₂輸送インフラのあり方 (公共性)
- CO₂取引制度
 - ・ 海外とのCO₂取引の連携も視野

● 当社が推進・参加する主なCCS/CCUS関連の取り組み (2022年10月末現在)

国内 2030年度までにハブ&クラスター型モデル事業確立

- 当社における検討
 - ✓ 当社油ガス田などのCO₂貯留可能量調査
 - ✓ 当社油ガス田操業における随伴CO₂の再圧入検討
- 企業間・業種横断的案件の実現可能性検討
 - ✓ 北海道・苫小牧エリアにおける産業間連携を活用したカーボンリサイクル事業の実現可能性調査 (NEDO受託事業としてデロイト トーマツコンサルティング(同)との共同実施)
 - ✓ 新潟エリアにおけるCO₂を有効活用した事業の可能性検討 (三菱ガス化学(株)との共同検討)
 - ✓ 新潟東港エリアにおけるCCUSハブ&クラスター事業実現可能性調査実施 (令和4年度JOGMEC受託事業)

海外 制度先進国案件での早期収益貢献&新興国検討案件

- 当社における検討
 - ✓ 北米やヨーロッパなどの制度先進国における、CCS/CCUS案件への参画検討
- 企業間・業種横断的案件の実現可能性検討
 - ✓ インドネシア・スコワティ油田における二国間クレジットを活用したCCUSプロジェクトの事業性評価共同検討 (プラタミナグループおよびレミガスとの共同実施)
 - ✓ マレーシアにおけるCCS共同スタディ：CO₂地中貯留の実施を視野にした適地調査や技術的な検討などを実施 (ペトロナス、ならびに日揮グローバル(株)、川崎汽船(株)との共同実施、日本3社コンソは令和4年資源エネルギー庁補助金事業に採択)

共通 技術その他関連検討

- ✓ CN社会実現に向けたエネルギー輸送・供給インフラの技術課題検討 (JFEエンジニアリング(株)との共同検討)

7. 統合報告書およびIR関連資料等のご案内

当社の統合報告書およびIR関連資料は、当社ウェブサイトの以下のリンクからご覧いただけます。

統合報告書

◆ 統合報告書



<https://www.japex.co.jp/ir/library/integratedreport/>

最新号（統合報告書2022、2022年9月発行）は、
以下のリンクから直接ご覧いただけます

https://www.japex.co.jp/ir/uploads/pdf/JAPEX_IR2022_j.pdf

開示資料アーカイブ

- ◆ 決算短信
- ◆ 決算説明資料
- ◆ 有価証券報告書・四半期報告書

<https://www.japex.co.jp/ir/library/result/>

<https://www.japex.co.jp/ir/library/explanatory/>

<https://www.japex.co.jp/ir/library/report/>

業績情報など

- ◆ 業績ハイライト（過去5期分）
※過去10年分CSVデータダウンロード
- ◆ 株主還元（配当の推移）

<https://www.japex.co.jp/ir/figure/pl/>

https://www.japex.co.jp/ir/uploads/JAPEX_10yearFinancialData_j.xlsx

<https://www.japex.co.jp/ir/stock/dividend/>

8. 用語集

■ 略語

BOE(D)	Barrels of Oil Equivalent (per Day)	石油換算バレル（日量）
CCS	Carbon dioxide Capture and Storage	二酸化炭素回収・貯留
CCUS	Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage	二酸化炭素回収・活用・貯留
CIF	Cost, Insurance and Freight	運賃、保険料込条件
E&P	Exploration and Production	石油・天然ガスの探鉱、開発・生産を行う事業
FID	Final Investment Decision	最終投資意思決定
GHG	Greenhouse Gas	温室効果ガス
HSE	Health, Safety and Environment	労働安全衛生・環境
JCC	Japan Crude Cocktail	全日本平均原油輸入CIF価格
JEPX	Japan Electric Power Exchange	一般財団法人日本卸電力取引所
MH	Methane Hydrate	メタンハイドレート
RRR	Reserve Replacement Ratio	埋蔵量置換率
WTI	West Texas Intermediate	ウェスト・テキサス・インターミディエイト原油

■ 主要な子会社・持分法適用会社

Jガラフ	(株)ジャペックスガラフ	イラク・ガラフプロジェクト
EMPI	Energi Mega Pratama Inc.	インドネシア・カンゲアンププロジェクト
SODECO	Sakhalin Oil & Gas Development Co., Ltd.	ロシア・サハリン1プロジェクト
DGN	Diamond Gas Netherlands B.V.	マレーシアLNG ティガプロジェクト
FGP	福島ガス発電（株）	天然ガス火力発電事業

注意事項

本資料に掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、その他歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しを示したものです。実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。

Copyright: 本資料に含まれるすべての内容に関する著作権は、当社が有しています。
事前の承諾なく、これらの内容を複製もしくは転載することはお控えください。

注)

- ・本資料においては、(a) は実績数値 (actual results) を、(f) は予想数値 (forecasts) を示しています。
- ・営業利益、経常利益、持分法投資利益、親会社株主に帰属する当期純利益の「△」表記は、各利益における損失を表しています。

本資料に関するお問い合わせ、その他IRに関するご質問は、以下にお願いいたします。

石油資源開発株式会社 コーポレートコミュニケーション室 電話: 03-6268-7111

JAPEX

石油資源開発株式会社